

## 令和2年度 第3回 宇都宮市民大学運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和2年11月20日(金) 午前11時から
- 2 開催場所 人材かがやきセンター 研修室(中央生涯学習センター5階)
- 3 出席委員  
川本 清 会長 島田 繫雄 副会長 赤羽 幸雄 委員  
江田 壮一 委員 大山 眞一 委員 川島 育郎 委員  
野中 正知 委員 待山 妙子 委員 丸山 純一 委員  
(以上9名)
- 4 欠席委員  
阿部 ゆり 委員  
(以上1名)
- 5 出席職員  
生涯学習課長 秋山 黎明  
生涯学習課長補佐 今井 宏行  
家庭教育・地域人材グループ係長 藤田 直樹  
家庭教育・地域人材グループ総括 泉 志帆  
家庭教育・地域人材グループ専任 高田 正枝  
家庭教育・地域人材グループ社会教育主事 若林 慎  
家庭教育・地域人材グループ主事 佐藤 真莉乃  
家庭教育・地域人材グループ主事 篠崎 さくら
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴者の数 0人
- 8 議事  
(1) 議題
  - ・ 宇都宮市民大学運営協議会役員を選出について(会長・副会長)
  - ・ 宇都宮市民大学運営協議会役員を選出について(監事)
  - ・ 令和2年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について
  - ・ 令和2年度宇都宮市民大学公開講座について
  - ・ 令和3年度宇都宮市民大学収講座企画・運営ボランティアスタッフ企画講座の決定について

## 9 議事の経過

### (1) 宇都宮市民大学運営協議会役員の選出について（会長・副会長）

川本会長	会長及び副会長の選任については、宇都宮市民大学運営協議会運営要領第5条の規定により、「協議会に会長及び副会長1人を置き、委員がこれを互選する。」とあることから、委員の皆様の中から会長及び副会長を選出していただきたい。 会長及び副会長の互選について、推薦があれば、発言をお願いしたい。
島田委員	会長について、8月の任期まで会長を務められていた川本委員はいかがか。 また、副会長については、講座企画選考委員会の委員長をお務めの丸山委員を推薦する。
事務局	ただいま、島田委員から提案があったが、川本委員に、会長職を丸山委員に副会長職をお引き受けいただくことに意見はあるか。
(一同)	(異議の声なし)
事務局	川本委員、いかがか。
川本委員	(承諾の返事)
事務局	丸山委員、いかがか。
丸山委員	(承諾の返事)
事務局	川本委員を会長に、丸山委員を副会長に選任いただいた。
事務局	それでは、川本会長より挨拶をお願いします。
川本会長	本協議会を円滑に進めるとともに、市民大学事業がより良いものとなっていくよう努めていくので、委員の皆様の支援をいただきたい。よろしくをお願いします。
事務局	続きまして、丸山副会長より挨拶をお願いします。
丸山副会長	よろしくをお願いします。

### (2) 宇都宮市民大学運営協議会役員の選出について（監事）

事務局	監事については、宇都宮市民大学運営協議会運営要領第7条の規定により、「監事は会長が指名する」とあることから、会長より指名をいただきたい。
川本会長	前回に引き続き、 公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 野中 正知 委員、

野中委員	とちぎボランティア NPO センターぽぽら 赤羽 幸雄 委員 をお願いしたいと思うが、いかがか。 (承諾の返事)
赤羽委員	(承諾の返事)
川本会長	それでは、よろしく願います。

(3) 令和2年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について

島田委員	募集定員に対して、かなり多くの人から申込みがあり、大変ありがたいと思う。これまでの出席状況はどうなっているか。
事務局	出席状況については、1～2週目は出席率が高く、全員出席か欠席者1人程度であったが、今週に入って、かなり寒くなってきたこと、県内の新型コロナウイルス感染者のニュースがあったことから、3～4人程度欠席が出た講座もある。欠席者に対しては、例年は資料を事務局で置き置きしているところだが、今年度に関しては感染症のこともあるため、欠席が続き最後まで来所しない場合は、講座終了次第、講座分の講座資料は、郵送するように対応したい。
川本会長	感染症の影響で、随分と募集定員を絞らないといけない状況だったが、例年と変わらず希望者も多くいるということで、十分に感染症対策を実施していただいていると思う。  感染者も増加しているため、気をつけていく必要があると思うが、無事に終わるように引き続きお願いしたい。
大山委員	私は実際に企画運営に携わっているので、実態を報告したい。 「かさましこの世界」を企画、実施しており、職員の皆様の協力で、換気などの感染症対策は十分にとられていると思う。  30名の受講者がいるが、席と席の間隔をあけて着席してもらい、大声を出したり、食事をしたりする人もいないので、今のところ万全に進められていると思う。  当初予定していた館外学習に代わる講座企画で、バスに乗って笠間と益子を回る予定だったが、感染症を踏まえ中止になってしまった。たまたま、かさましこが認定を受け、急遽、益子の副町長に依頼して、日本遺産についての講義をいただいた。それから、作家を笠間と益子からお呼びして、その実態をお話ししていただいた。  臨機応変に企画していく醍醐味を勉強させていただいた。社会状況

島田委員 事務局	<p>が悪いなりに、工夫して企画立案をしていくことで、良い講座を提供できると勉強になった。</p> <p>今回の参加者の年齢構成はどのようになっているか。</p> <p>参加者の年齢構成は、70代が中心となっており、全体の100名を超えている。</p> <p>ただ、今年は30代が3名、40代が6名の方に受講いただいている。今まで60・70代が大半を占めていて、なかなか他の年代層に受講いただけていないところだったが、感染症の影響下で、テレワーク等で時間ができた人も多くいたようだ。初めてお申し込みいただく人が72名であり、今回は全体の30%を占めている。これまでは15%程度だったところから、かなり新規の人から受講のお申し込みをいただいた。</p>
島田委員 事務局	<p>マンガも近年は市民権を得てきているところであるが、「マンガと日本人」の受講者の年齢層はいかがか。</p> <p>「マンガと日本人」の講座が、特に40代の受講者が多い講座となっており、大変好評である。ただ、「実習」を予定していたため、通常市民大学を楽しみにしている受講者は座学講座が中心であることと感染症下での「実習」ということが足かせになってしまい、募集定員には満たなかった状況である。</p> <p>しかし、受講している人には大変好評で、毎回、講座の開始前と終了後には拍手が起きている。同一の講師による、6回の連続講座のため、大変盛り上がりしており欠席者も少ない状況である。</p>
川本会長	<p>それでは、令和2年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況については報告案件のため、以上とする。</p>

(4) 令和2年度宇都宮市民大学公開講座について

川本会長	<p>文化会館の大ホールは、かなり受入れが可能だと思うが、500名というのは、1人置きで着席するなどの対策を講じた上での人数ということでよいか。</p>
事務局	<p>会場については、昨年度は文化会館小ホールで500名を予定し、予算等も準備を整えてきたところであったが、感染症の影響で隣同士に座ることが難しいという観点から、会場を大ホールに変更した。当日、会場では受講者同士がおひとり置きでお座りいただき、また前</p>

後も並ばないように配慮して準備を整えていきたい。

有料講座のため、チケットをお持ちいただくことを考えているところであるが、当日は申込者と来場者が異なる可能性もあるため、お越しいただいた全員の連絡先と名前を半券もしくはチケットに記入していただき、それらを預かることで、出席者の状況は把握できるようにしていく。

川本会長 他にないようなので、令和2年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況については、報告案件のため、以上とする。

(5) 令和3年度宇都宮市民大学取講座企画・運営ボランティアスタッフ企画講座の決定について

川本会長 この件について、企画選考委員会委員である丸山副会長から、何か補足があれば発言いただきたい。

丸山委員 今回は、8つの提案の中から7つを選ぶということで、1つ落とすということが心苦しいところでもあった。

かなり練られた提案が多く、今期初めて委員を務めた人からも「とてもマニアックなものが多いという印象を受けた」との声もあった。アカデミックという言葉があっただが、学問は深めていくと、マニアックなものになっていくものであるため、かなり深められた企画講座内容になっていたと思う。総合的な得点からも分かるとおおり、「渤海」をテーマにした企画が落選となった。企画の提案も2回目で、大変研究されている内容だと思ったが、「なぜ今渤海なのか？」という市民ニーズの観点からの不採用の結果だったと思う。私は4年ほど選考委員会に出席しているが、企画者が固定されてしまっている印象があるので、様々な講座の提供のためにも幅広い企画者から提案が出ると良いと思う。

川本会長 この件について、意見、質問等はあるか。

江田委員 今年度の講座で実習・実技を問う話があっただが、資料の『「審査項目」と「審査基準」』(P7)に、「実習やワークショップなど、学習効果を高めるための工夫がされている」という審査項目がある。令和3年度の企画講座を見ると、ねらいからはそこまでくみ取ることはできないと思う。その部分はどのように対応されていたか。

事務局 資料の選考基準等は、例年のものになっている。企画選考委員と企画者には事前に伝えているが、感染症問題で3密を避けるため「実習

やワークショップなど、学習効果を高めるための工夫」の評価ができない状況であるため、企画の作成段階でこれらを含まない学習方法での企画立案をお願いしている。

また、第2回運営協議会で報告したとおり、令和3年度企画は、館外学習等も実施しない方向でお願いしている。ただ、例年、企画ボランティアには、学習効果を高めるための工夫内容を盛り込む意識づけをお願いしていることから、通常はこういったことも評価の観点となることを示すために掲載させていただいた。説明が漏れてしまい大変申し訳ない。

川島委員 例年に比べて、新規企画の応募数が少ないように見えるが、何か影響することがあったのか。

事務局 令和2年度前期に中止となった企画が優先して採用されるということが、要因のひとつになったと思う。また、ボランティアスタッフが、感染症下で活動ができなかったということも要因のひとつかと思う。ボランティアスタッフは、多くの場合、中央生涯学習センターを中心に各地区から集まる。しかし、7月までセンターの借用もできなかったことから、企画募集要項を案内する8月の時期までに企画立案が難しく、企画提出までの活動時間が短かったのではないかと思う。

野中委員 企画者が固定化していることは課題だと思う。しかし、これだけの準備をしてくれる人も、なかなかいないのも事実だと思うので、今後この人たちも支援していかなければいけないと思う。

令和3年度予算について、講座の募集定員を絞っており、当然受講料が減るため、収入は減になる。今年度は、前期中止になっているため、後期講座の募集定員を絞ってもやりくりは何とかできたと思うが、来年度予算のやりくりについて、予算獲得に向けての考えや募集定員を減らした上での対策などがあつたらお聞きしたい。

事務局 来年度予算については、予算案を提出したが、まだ内示をいただけていないため、交付金は確定していない。企画者には、講座の質を下げないためにも、感染症等の受講者減を考慮せず、各回の講師の謝金を計上していただいた。例年のように受講者を50人～80人程度受け入れをしていた時は、歳入がかなり大きかったところだが、受講者が30名で実施した場合、かなり予算は厳しいと見込んでいる。

ただ、今年度は受講者募集を30名、受講決定者をキャンセルを見

	<p>込み45名と増やした。企画の段階では30名としているが、今後の感染症の状況を踏まえ、来年の4月受講者募集の際には、極力、研修室の収容可能人数の半数となる50名で募集し、安心して受講できる環境下での実施をしていきたい。また、感染症が収束した際には、定員を従来の70～80名まで戻したい。</p>
赤羽委員	<p>今回初めて受講して、充実した講座だと思った。全体的に、歴史に関係する講座が応募企画においても、受講者数においても多く、歴史分野は強い面があるように感じる。その半面、歴史以外の分野が弱いと思う。企画者が少ないからかもしれないが、心理学や文学などの歴史以外の広いジャンルでの講座を企画してもらえるとよい。</p>
待山委員	<p>募集の方法だが、どのような広報活動を通して市民に伝えているのか。</p>
事務局	<p>募集の方法については、募集の時期になる4月と9月の広報紙に掲載している。また、各生涯学習センターや市の関係施設等において、お手元のパンフレットを置き、講座の詳細を確認いただいて、申込みをいただいている。併せて、市ホームページでも案内している。募集期間の1日～14日については、市内に在住、通勤・通学している人が優先となり、市外の方は申込みいただけない。おおむね、募集期間内に6講座中5講座は定員が埋まる。</p>
大山委員	<p>今回のプレゼンで私の企画が県外の人が多いため、教授クラスだと1回の謝金が交通費を含め3万円以上となる。一応受講料をいただいている収益事業ではあるが、市が実施している公共事業であり、今回のような感染症の影響もあれば、大変難しい運営となる。しかし、栃木県の講師ばかりに偏ってしまうと、講座の内容が限られてしまうため、私としては、多少遠方であっても、外部の講師からの知識を吸収するためには致し方ないと思う。また、宇都宮市民大学では、宇都宮市民が受けられるものとしているが、市外の人にも積極的に呼び込むべきだと思う。講座の定員に空きがある場合に限ってでもいいので、ぜひ市外にも広めていただけるよう、検討いただきたい。</p>
事務局	<p>恐縮ながら、市の事業であることから、市内に在住、通勤・通学している人の申込みが優先となるが、14日以降は、講座の定員に空きがあった場合のみ、市外の人もお申し込みいただける旨を、配布したパンフレット及び市ホームページ等でも案内をしている。</p>

川本会長	それでは、令和3年度宇都宮市民大学講座企画・運営ボランティアスタッフ企画講座の決定について承認いただけるか。
(一同)	(異議なしの声)
川本会長	その他のことについて、意見・要望等はあるか。
島田委員	この先、感染症がどのようになるかは分からないが、講師が直接会場に来るのではなく、リモートで講座を実施することは検討されているか。
事務局	委員の皆様からは、何度かリモートの実施検討について意見をいただいているところであり、事務局でも考えていかなければならないが、会場のWi-Fi環境が整っていないため、まずは機器の整備から始めないといけない。リモート開催については検討材料として考えているが、実施については先になると見込んでいる。そういった手法での講座提供が可能になった際には、委員の皆様にも報告する。
川本会長	多くの大学等では、今年からZOOM等を使用したオンライン講座が行われている。受講希望者の中には、来たくてもどうしても来られない人や家だったら受講できるという人もおられると思う。ぜひ、前向きに検討いただきたい。
	「その他」について事務局から何かあるか。
事務局	来年度の第1回運営協議会の開催は例年どおり4月下旬を予定している。
川本会長	以上で、本日の議題は全て終了とする。